

1月のできごと

ラピアに大行列

1月2日、早来スズランシール会（会長小山良雄）主催のすずらんシール20倍ビッグチャンス抽選会が行われ、会場となったラピア駐車場には、特賞や初夢賞を求めて長蛇の列ができ、商店街はにぎやかな新春となりました。

ラピアは、デマンドバス待合所や会合、お友達のおしゃべりの場としての利用のほか、宿題をする子どもたちの利用もあるとのこと。



道内各地から牛集まる

1月8日、道内最大規模の和牛専門市場であるホクレン北海道家畜市場で平成26年最初の競りが行われました。

競りは9日までの2日間の日程で行われ、黒毛和種や乳用交雑など合計1818頭が出場。ホクレンが発表した最高価格は黒毛和種の83万1千円、取引平均価格は50万7千円を超え、取引総額は前年よりも10%以上増加という幸先の良いスタートとなりました。

一年の安全を願って

1月10日、安平町交通安全協会は、早来神社で恒例の交通安全祈願祭を行いました。

安平町は、昨年7月交通事故致死ゼロ日運動千日を達成し、現在も記録を更新中です。

同協会佐藤会長は、「町民一人ひとりの心がけと、交通安全推進委員、指導員の皆さんによる啓発活動の賜物です」と賞賛し、一日でも長く記録更新できるように、参加者に協力を呼びかけました。



幻想的な空間を演出

1月20日からロビーコンサートに向けた町民製作として、アイスキャンドル作りが早来・追分両公民館で行われました。

作業期間中、暖気の影響で気温が思いのほか下がらず、作業の中止や張った氷が薄く作業中に割れてしまうなどのトラブルに見舞われましたが、ボランティアや実行委員の皆さんによって、無事完成させることができ、ロビーコンサートを盛り上げました。



子どもたちが元気に活動するために

1月16日、読売センター追分の津澤信宏さんから追分地区7つの子ども会に対し、古紙回収で積み立てた収益金の贈呈式が行われました。

古新聞をゴミステーションまで運べない購読者がいることを知り古紙回収を開始し、同時に収益金を積み立てていたとのこと。

「子どもたちが元気になることに使ってほしい」という言葉を添えて、各子ども会の代表に手渡されました。

